



あんくる 'Sベル&がまりコ
代表 鈴木 竹仁

「あんくる、Sベルは、同級生のおじさんばかり14人の珍しいミュージックベルアンサンブルです。市民病院でのクリスマスコンサートを中心に、おじさんたち大活躍。最近では、メンバーのリクエストにこたえ、童謡から、シャンソン、フォークソングをベル用に編曲しています。」

また市制55周年記念に合わせて、がまりコもスタートしました。各家庭に、一番普及している楽器は？と考えると、リコーダー！と言うことから、音楽のまち蒲郡にふさわしく、子どもから大人まで、気軽に楽しめる音楽活動を目指しています。

笛とは小学校の鼓笛隊で出会い、学生時代にはリコーダー



昨年のクリスマスコンサート

ンサンブルに所属してました。個人的にはがまりコの指導をお願いしている大竹尚之氏にも師事し、毎日笛を吹いています。リコーダーは小学校の授業から本格的なバロック音楽まで、また、一人でもアンサンブルでも楽しめる、とても幅広く奥の深い楽器です。11月22日(日)午後2時から、市民会館の中ホールにて、笛と遊ぼうコンサートを行います。会場全体でリコーダーの大合奏をしますの、皆さんも、家に眠っている笛を持参して、一緒に楽しみましょう！

12月20日(日)午後2時から、市民病院のホスピタルモールにて、あんくる、Sベルと、がまりコが一緒になってクリスマスコンサートを開催します。お楽しみに！



図書館 ☎69・3706

「だれにもピカリと光る
何かがある」

金沢嘉市先生を知っていますか？

金沢嘉市先生は、1909年に蒲郡の平田町に生まれ、苦学の末に教師になりました。東京の小学校で生きた歴史教育の実践者として注目を集め、社会科学教科書の執筆陣にも加わり、また、NHKで子どものための時事解説を14年間努めました。

「だれにもピカリと光る何かがある」の教育信条のもと、子どもの人権を尊重した教育と平和を説き続け、退職後も教育評論家として活躍しました。

『ある小学校長の回想』（岩波新書）など、先生の著書・蔵書は図書館別館金沢ヒューマン文庫に収められています。

「金沢ヒューマン文庫」
毎週土曜日 午後1時～4時
入室・閲覧できます。

👍
おすすめの本



「元気でいてよ、R2-D2。」
北村 薫／著
集英社

取り返しをつかない、いろんなこと。今までもいっぱいあったし、これからもいっぱいあるんだらう。表題作を含む全8編を収録。直木賞受賞後第一作。

【子ども向け】



「いちにちおもちゃ」
ふくべあきひろ／著
かわしまななえ／絵
PHP研究所

よし、1日だけおもちゃになっちゃおう。でも、よく考えてみるとくれよんは紙にこすりつけられて痛くてたまりません。コマはぐるぐる回って気持ちが悪くなってしまう。おもちゃって、どうやら大変なようで…。